

2022年第2四半期
決算説明資料

目次

1. 2022年 第2四半期決算概要

2. 事業概況

1. 電子認証・印鑑事業

2. クラウドインフラ事業

3. DX事業

1. 2022年 第2四半期決算概要

計画通り進捗し 前年同期比で増収増益

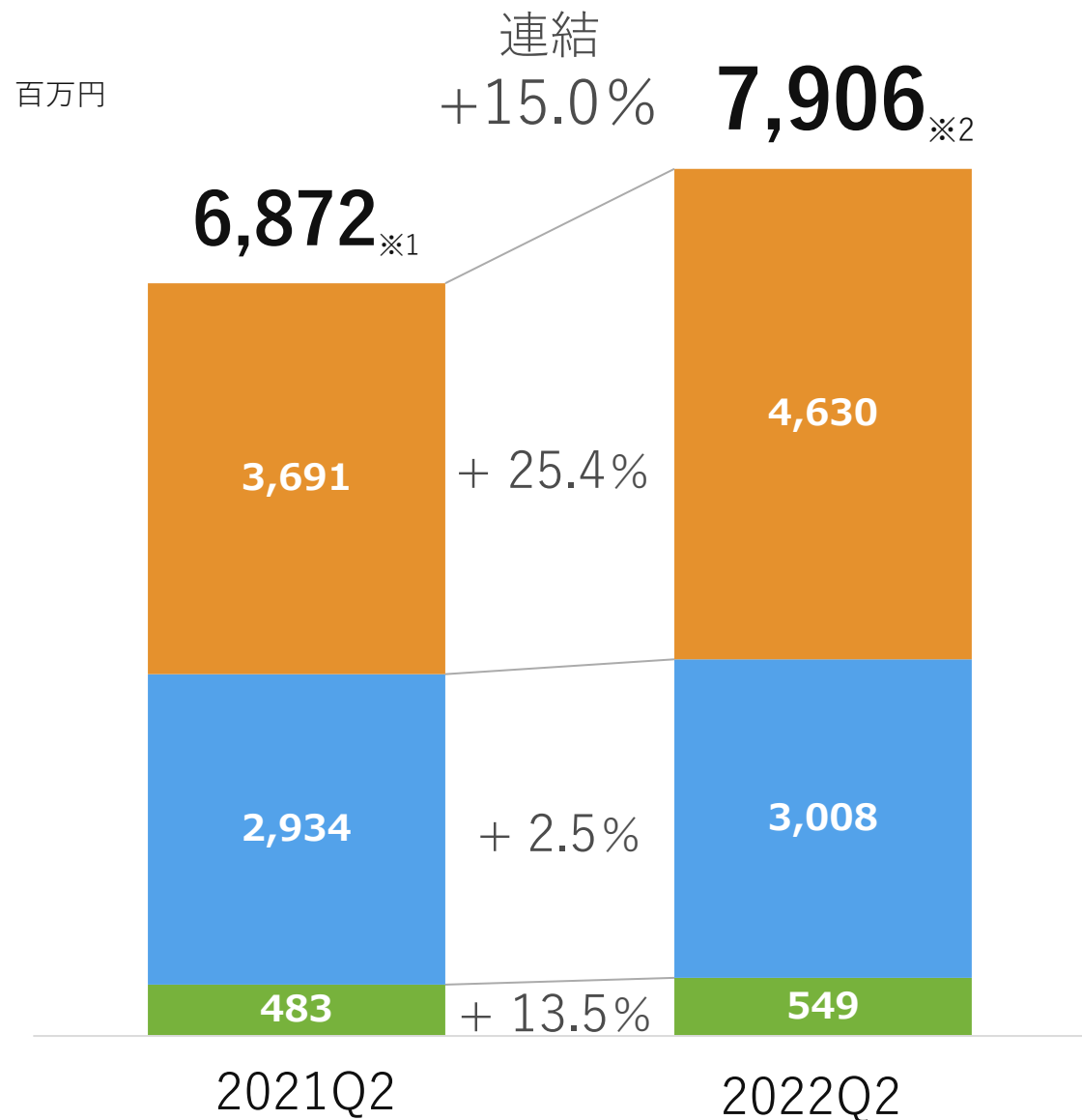
- 電子認証・印鑑事業の売上が好調に進捗し増収増益
- 電子印鑑なら
GMOサイン への戦略的投資により販売管理費が増加
- 更なる成長に向け、引き続き 電子印鑑なら
GMOサイン への投資を強化

2022年 第2四半期決算サマリー [累計比較]

- 通期業績予想は、GMOサインへの投資継続を考慮し据え置き

	2021年Q 2 実績	2022年Q 2 実績	前年同期比	2022年通期予想	進捗率
単位 百万円					
売上高	6,872	7,906	+15.0%	15,187	52.1%
営業利益	503	899	+78.6%	1,524	59.1%
経常利益	490	985	+100.9%	1,521	64.8%
親会社帰属利益	403	698	+72.8%	900	76.9%

セグメント別売上高 [累計比較]



電子認証・印鑑事業

- アジア地域のSSL売上が好調に推移
- SSL有効期限短縮のマイナス影響解消

クラウドインフラ事業

- CloudCREW_{GMO} の売上が好調に推移
対前年同期比+50%の増収

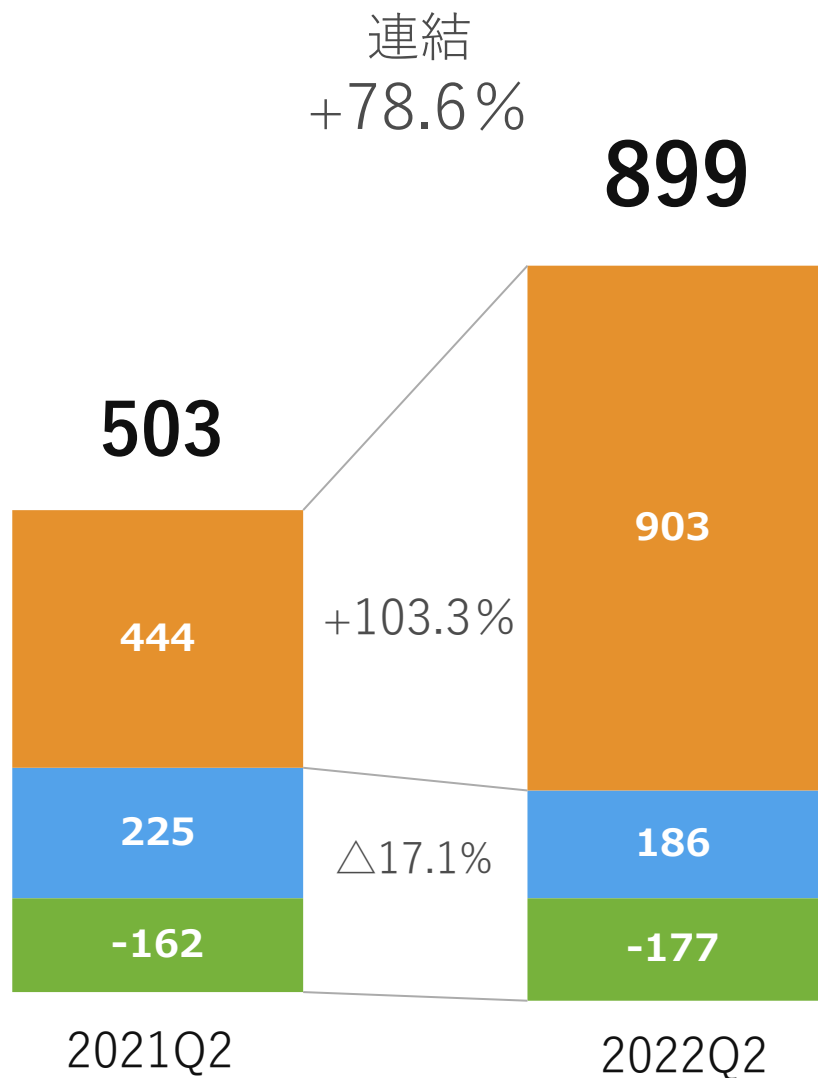
DX事業

- GMO おみせアプリ の売上が堅調に推移

※1 調整額としてセグメント間取引消去 237百万円

※2 調整額としてセグメント間取引消去 281百万円

セグメント別営業利益 [累計比較]



電子認証・印鑑事業

- 電子印鑑なら **GMOサイン** への投資で販売管理費が増加も売上高増加により増益

クラウドインフラ事業

- サーバー費および採用費の増加により減益

D X事業

- **LINKDrive** 開発による業務委託費の増加により減益

2022年 2Q四半期比較

- 第1四半期に比べ増収
- GMOサインのプロモーションおよび採用強化等、次の成長に資するコスト投下により減益

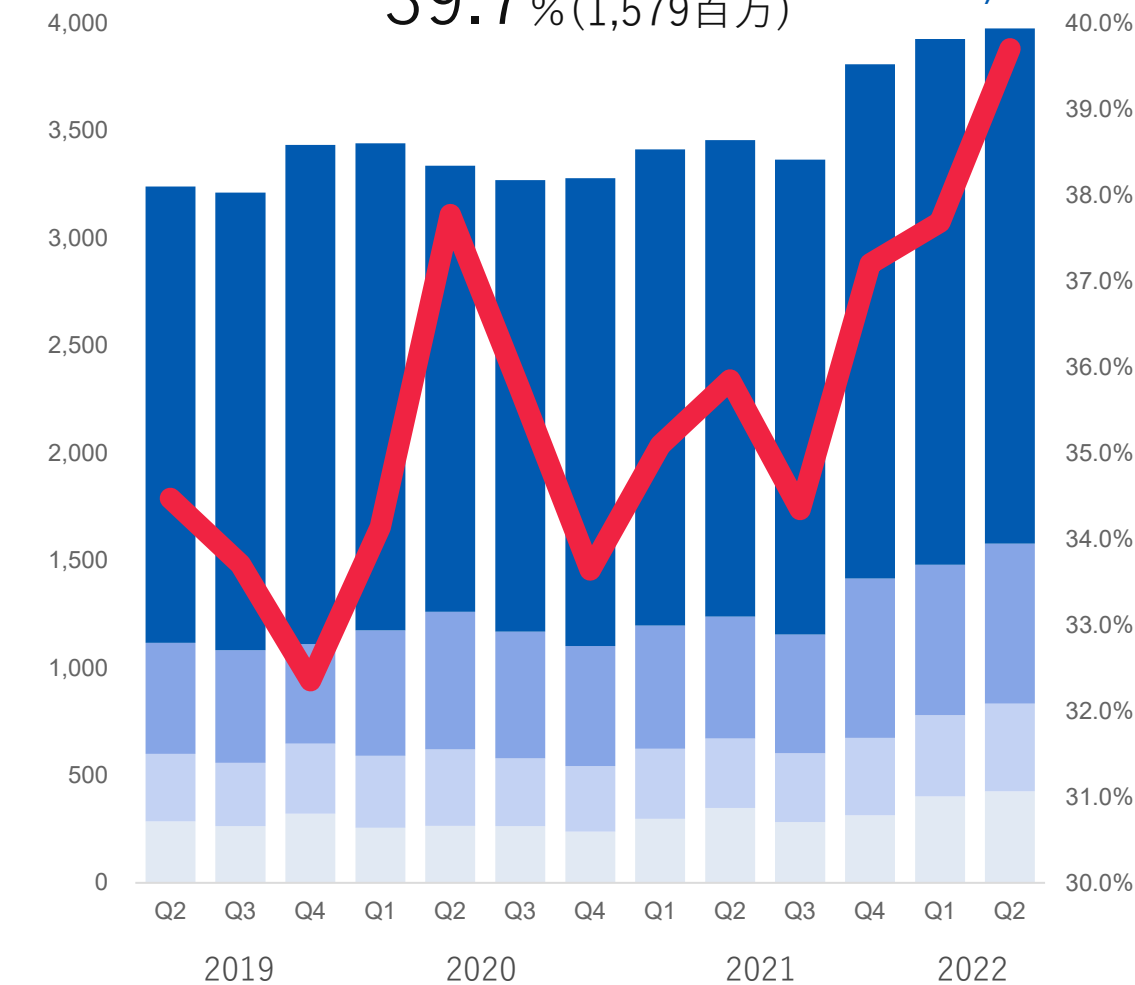
単位： 百万円	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q	前四半期比
売上高	3,455	3,364	3,808	3,929	3,977	+1.2%
営業利益	195	171	497	517	381	△26.4%
経常利益	196	230	479	558	426	△23.6%
親会社 帰属利益	174	102	△ 23	403	294	△26.9%

グローバル拠点別推移

売上高
(百万円)

2022Q2海外比率
39.7%(1,579百万)

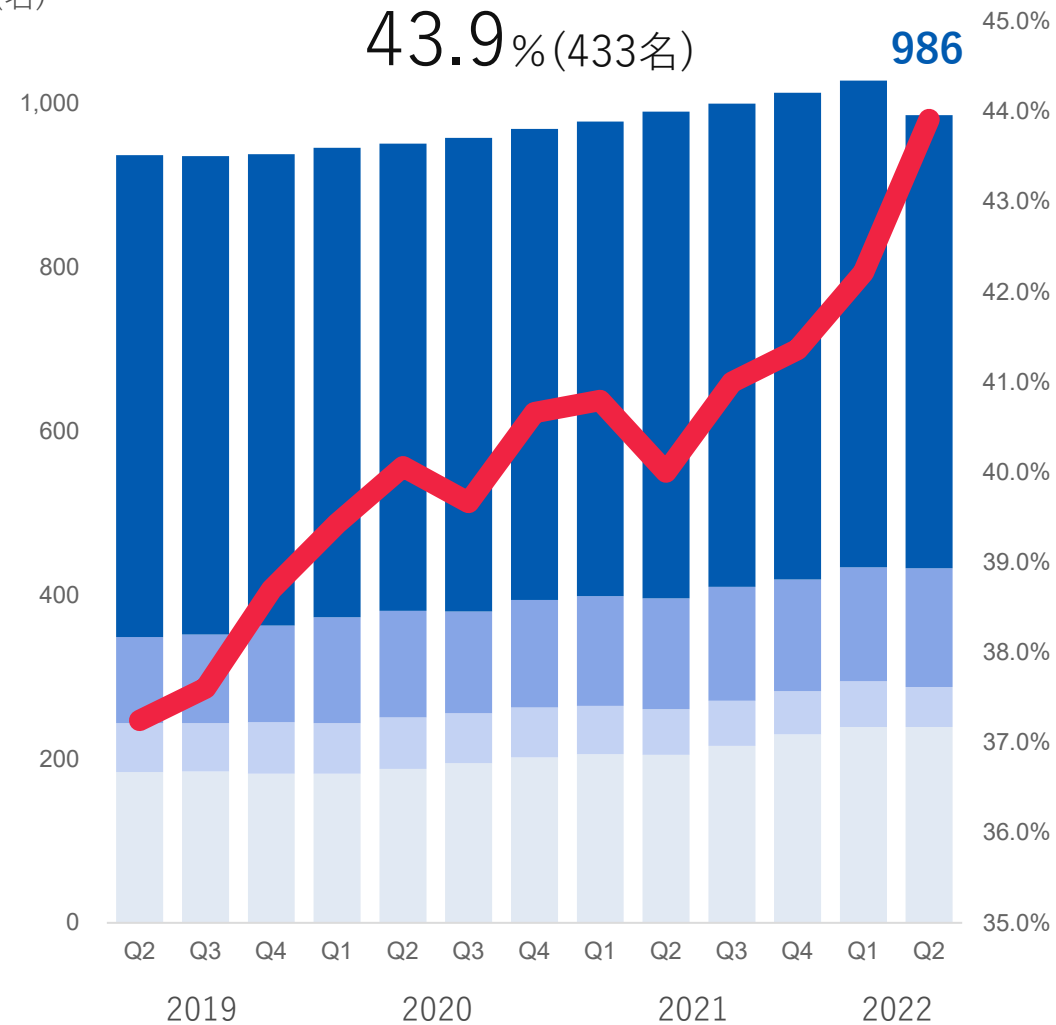
3,977



パートナー数※
(名)

2022Q2海外比率
43.9%(433名)

986



※ 当社および子会社16社（非連結子会社）の従業員数

■ 日本 ■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア他 ■ 海外比率

2.事業概況

トピックス ハイライト

電子印鑑なら GMOサイン

- リクルートと業務提携。不動産取引を全面支援
 - GMO-Z.comと「電子印鑑GMOサイン」タイ語・ベトナム語・ミャンマー語版を共同開発・サービス提供開始
 - 和歌山県湯浅町がテレワーク拡大を見据え、シングルサインオンサービス **GMO** **トラスト・ログイン** と組み合わせた実証実験を開始
-



- ネクスウェイと業務提携し、「GMO顔認証eKYC」と「本人確認BPOサービス」を連携
-

電子認証・印鑑事業

電子認証により、通信・取引を守る

電子認証・印鑑事業のサービス概要

電子印鑑なら
GMOサイン

立会人型・当事者型 すべての署名を提供
電子契約サービス
導入企業数 国内 **No.1**

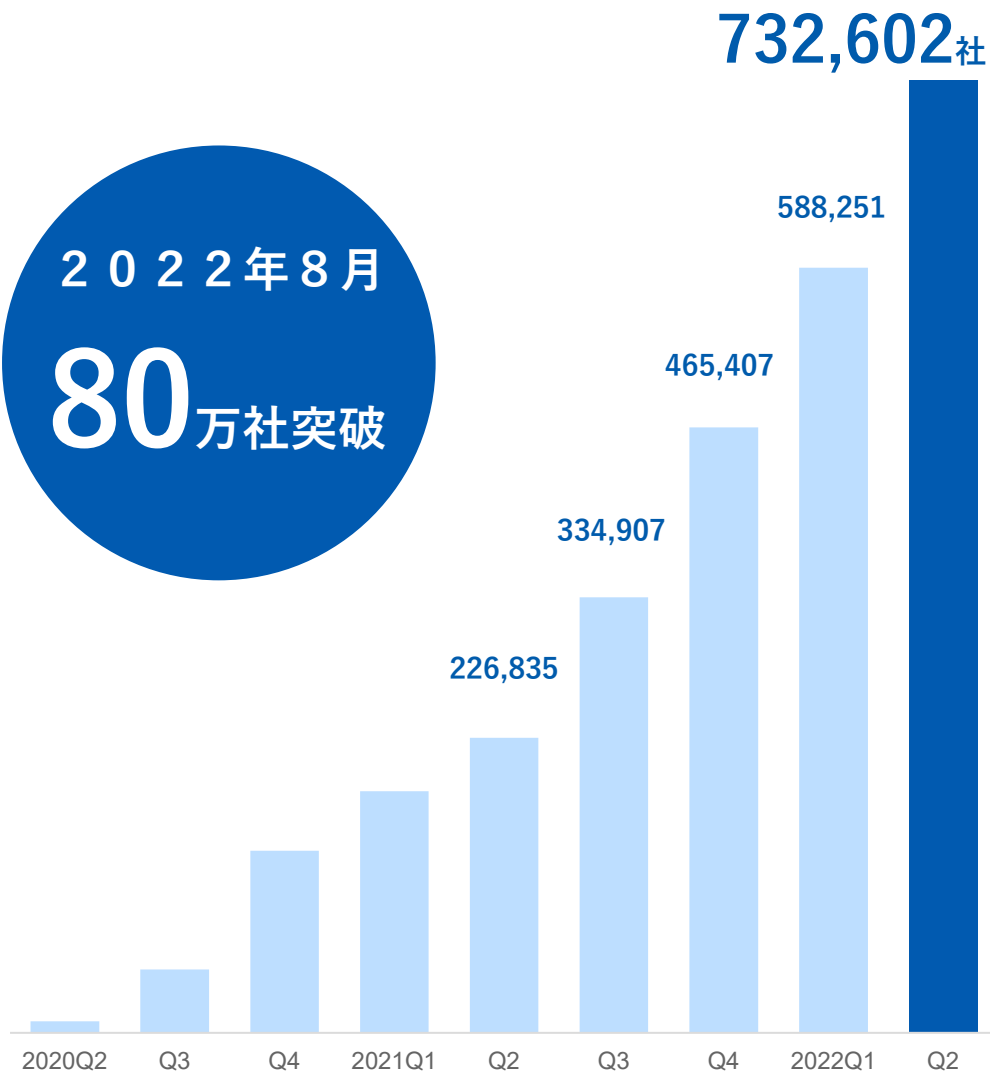
 **GlobalSign**[®]
by **GMO**

自社運営の国産認証局
SSLシェア 国内**No.1**、世界No.3

GMO トラスト・ログイン

シングルサインオンサービス
導入企業数 国内**No.1**

2022年8月
80万社突破



導入企業数 **No.1**※1 契約社数 **No.1**※2

前年同期比
3.2倍

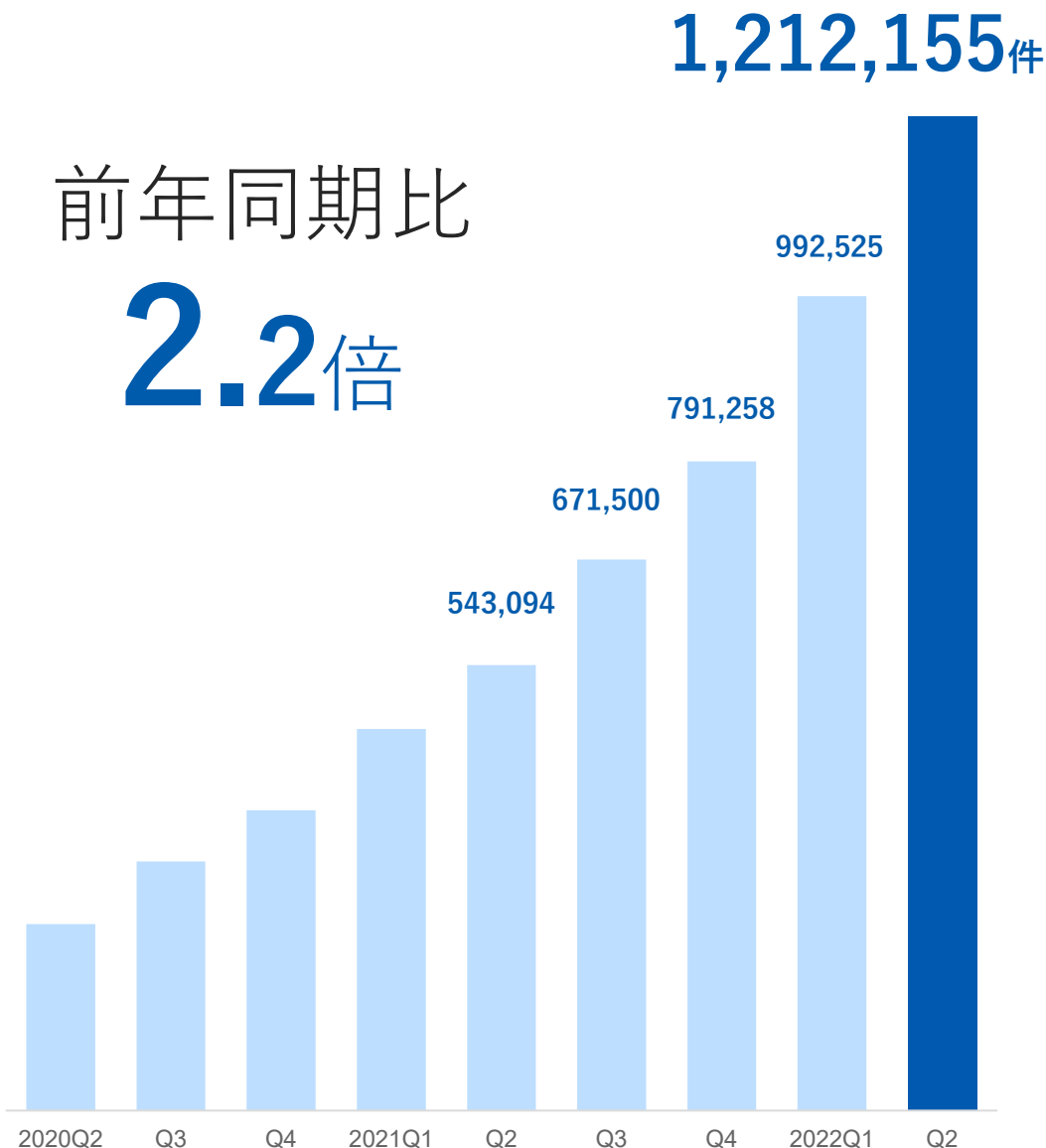
不動産業界への導入が加速、
大企業への導入も順調に増加
導入企業数は**140万社**を突破

※1 導入企業数は「電子印鑑GMOサイン（OEM商材含む）」を利用した事業者数（企業または個人）。1事業者内のユーザーが複数利用している場合は1カウント

※2 「電子印鑑GMOサイン」のアカウントを持つ契約社数。事業者（企業または個人）につき1アカウント。複数アカウントをご利用の場合、重複は排除

四半期別契約送信数の推移

前年同期比
2.2倍



導入企業 (一部抜粋)

- Z HOLDINGS
- YAHOO! JAPAN
- よろこびがつなく世界へ KIRIN
- BMW
- kikkoman
- 大和証券 Daiwa Securities
- 神戸物産 KOBE BUSSAN CO., LTD.
- OPEN HOUSE
- 東急リバブル
- ADEKA Add Goodness
- Mazda
- freee
- アイフル
- H.U.GROUP
- Menicon
- 北陸電力
- 株式会社 サカイ引越センター
- Mizuno
- SEPTENI
- 東建 CORPORATION
- UNITED ARROWS LTD.
- WOWOW
- PASONA
- 足利銀行
- Lancers
- MORI TRUST
- ARUHI
- BCS 三菱総研グループ Mitsubishi Research Institute Group
- ANA ANA Business Solutions Co., Ltd.
- TIPRESS フィットネスクラブ ティップネス
- DAIWA LOGISTICS Daiwa Logistics
- ダドリワーク
- ANDPAD
- freebit 毎日、発明する会社
- SILVER LIFE
- hottolink
- JEXER FITNESS CLUB
- Franc franc
- NICE
- coconala
- LIVE
- NIPPON STEEL 日鉄物流株式会社
- Makuake
- SEMBA
- 遠州鉄道株式会社
- TRANSIT GENERAL OFFICE INC.
- E-Guardian We Guard All
- PLUS HT HEALTHCARE TECHNOLOGIES



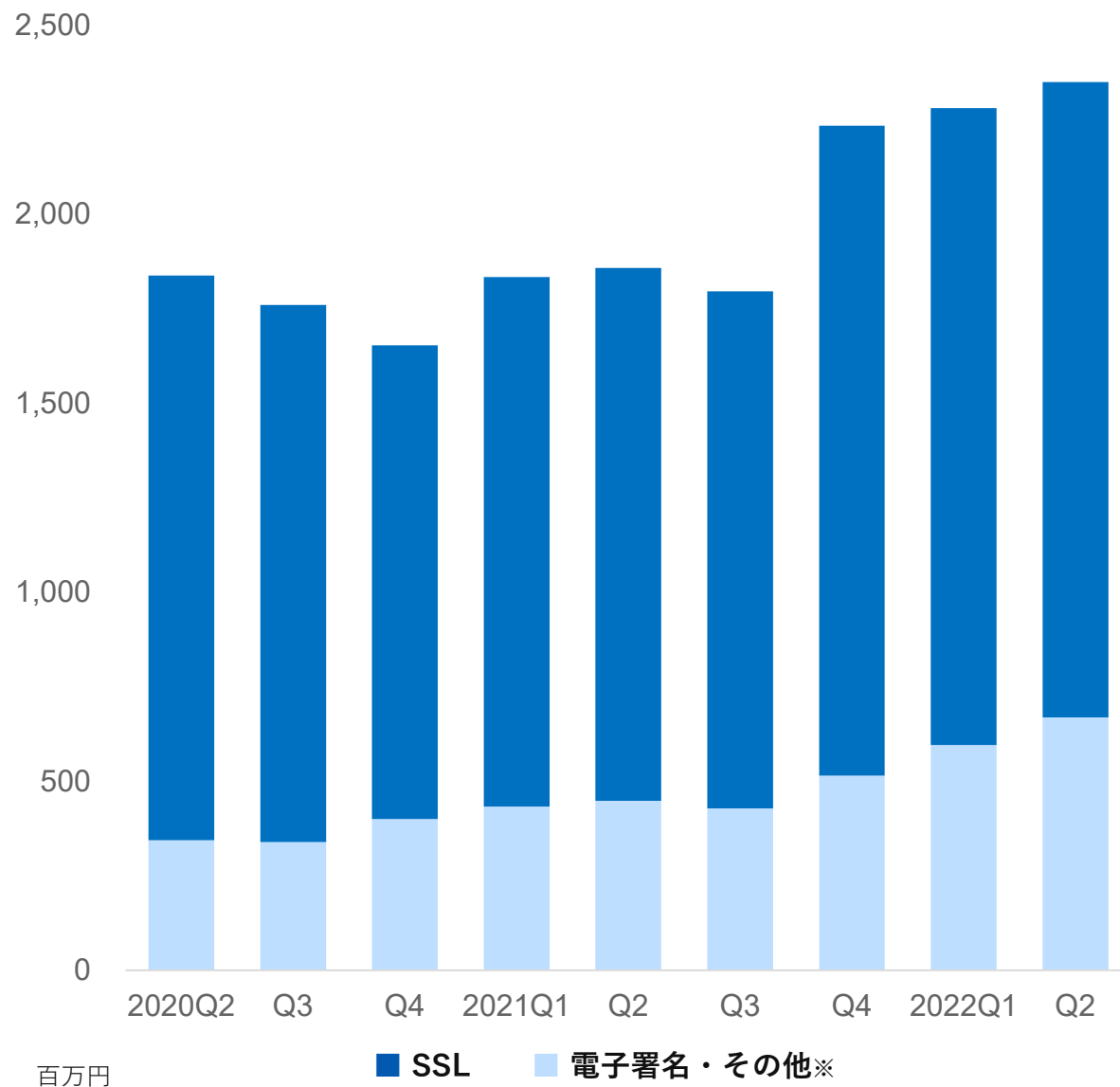
計**18**の
自治体・団体で
採用が決定

- ✓ リクルートと業務提携。不動産電子契約を全面支援へ



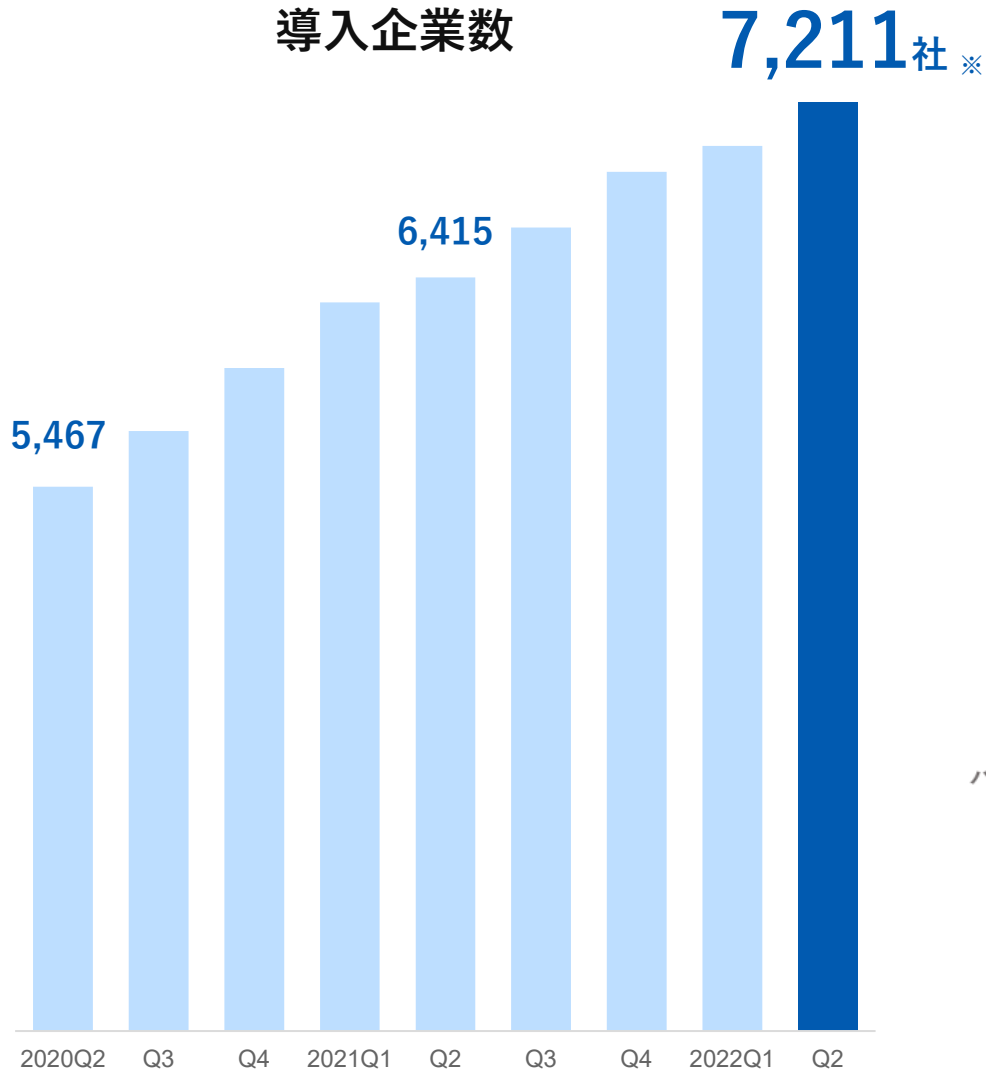
- ✓ 契約ライフサイクルの自動化で契約プロセスをもっと簡単に
～契約作成から締結・管理までを一元管理～

ContractS



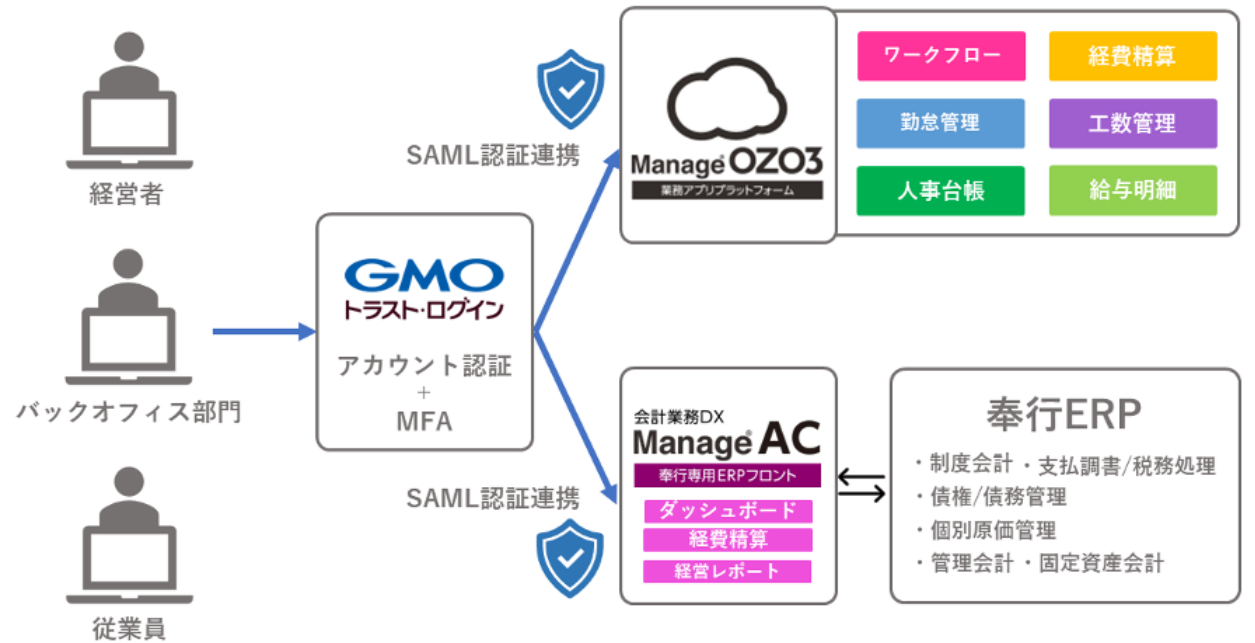
電子文書への
証明書利用が拡大

※ 電子署名サービス、クライアント証明書、電子契約サービス、IDアクセス管理サービス等の売上高



外部連携強化と パートナー戦略を推進

ワークフロー・会計業務をセキュアかつシームレスに



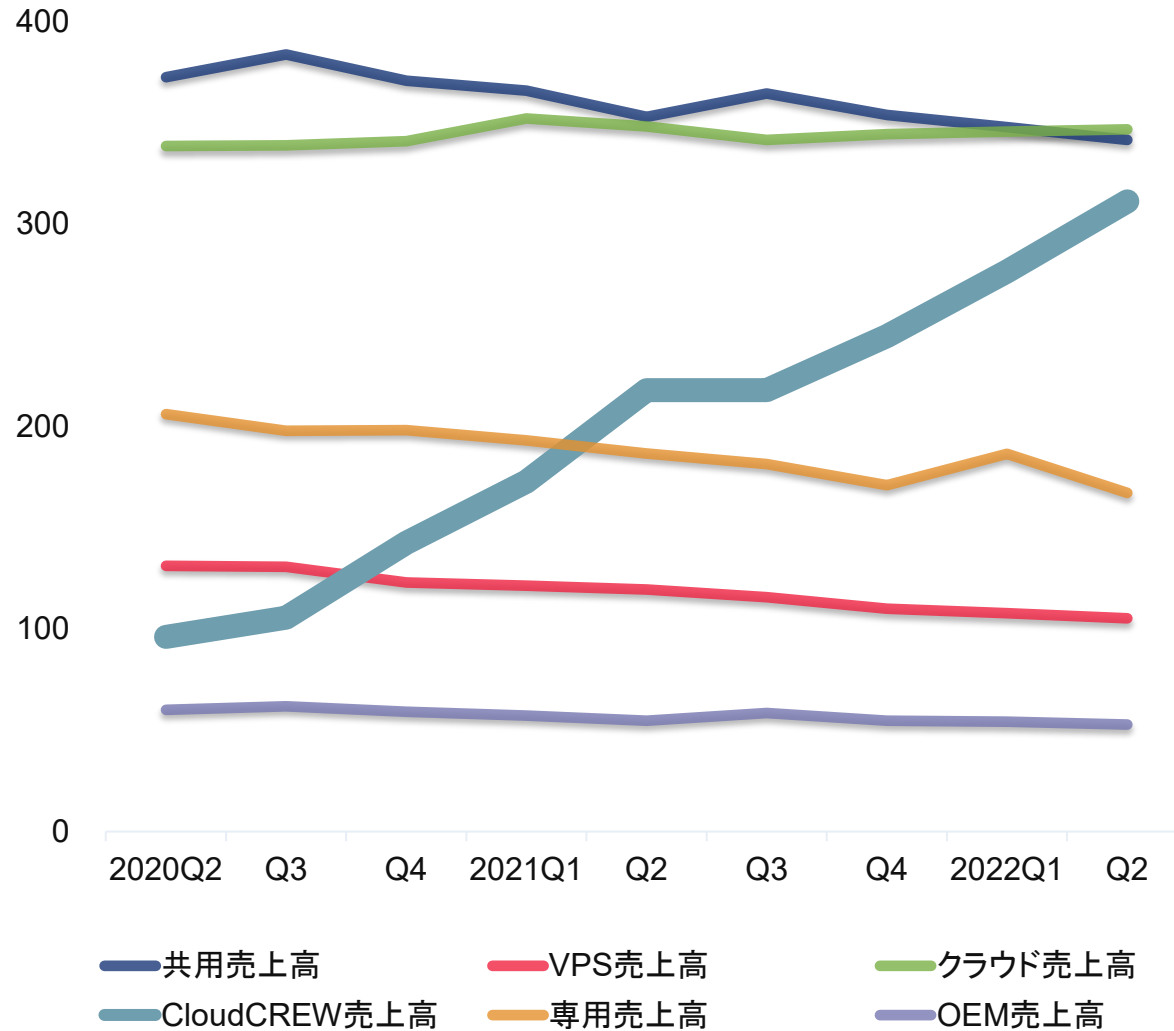
※トラスト・ログイン byGMO の導入企業数。事業者（企業または個人）につき1アカウント。複数アカウントをご利用の場合、重複は排除。

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供

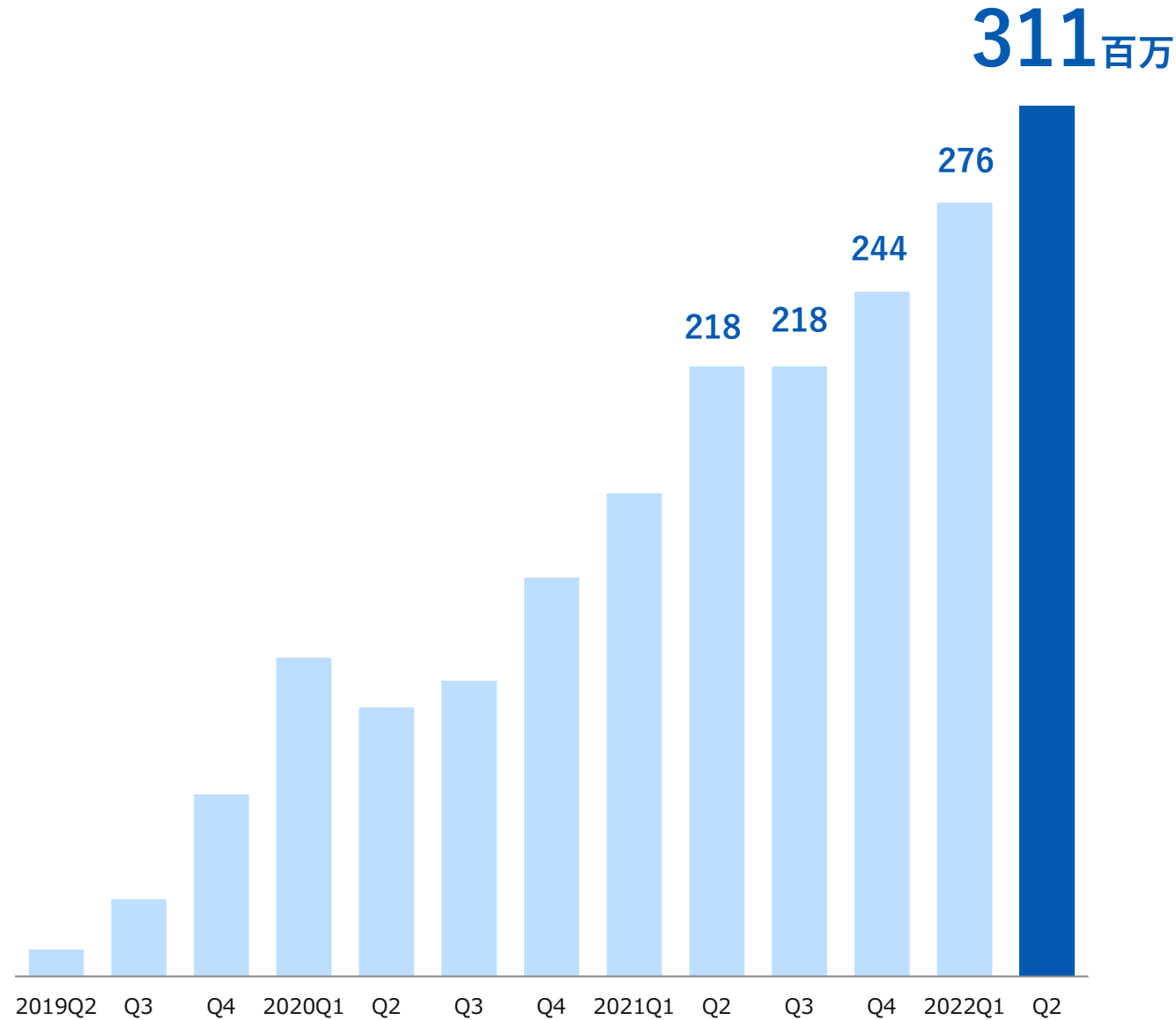
商材別売上推移

単位：
百万円



企業のクラウド需要を取り込み
引き続き売上堅調推移

クラウドインフラ事業



2022年第2四半期累計

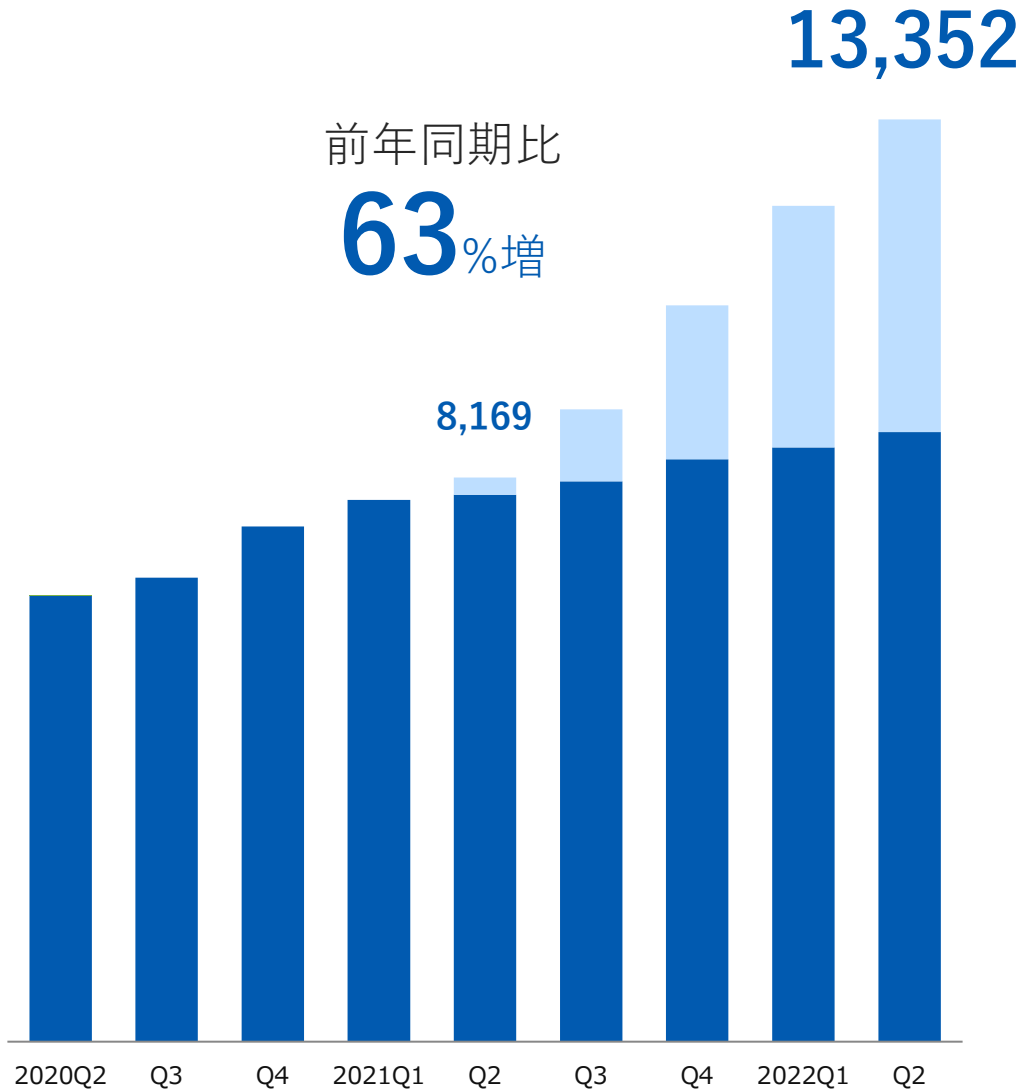
売上高：**587**百万円

前年同期比：**+50.4%**

DX事業

企業の課題解決を支援

導入店舗数推移



協業により自治体への導入拡大

モバイル商品券プラットフォーム by GMO

大阪府高槻市



スクラム高槻
地元のお店応援券

北海道札幌市



さっぽろ〇得クーポン

※O2O：オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

コトをITで変えていく。

もっと気軽に、もっとわかりやすく。ありとあらゆる人々に。
ITのチカラですべての人々に新たな経験価値を提供します。

GMO グローバルサイン・HD
 **GlobalSign**

参考資料

連結損益計算書

単位：百万円	2021年 Q 2	2022年 Q 2	増減率
売上高	6,872	7,906	+15.0%
売上原価	2,788	3,047	+9.3%
売上総利益	4,048	4,859	+19.0%
販売費及び一般管理費	3,580	3,960	+10.6%
（プロモーション費）	388	454	+17.1%
（減価償却費）	136	184	+35.8%
営業利益	503	899	+78.6%
（営業利益率）	7.3%	11.4%	—
経常利益	490	985	+100.9%
税金等調整前当期純利益	490	996	+103.3%
法人税等	125	292	134.3%
親会社に帰属する当期純利益	403	698	+72.8%

連結貸借対照表

単位：百万円	2021年12月末	2022年6月末	増減率
流動資産	7,517	8,834	+17.5%
（現金預金）	4,590	5,454	+18.8%
（売掛金）	1,653	1,951	+18.0%
固定資産	3,995	4,430	+10.9%
（ソフトウェア）	2,021	2,524	+24.9%
（投資有価証券）	590	461	△21.8%
資産合計	11,512	13,265	+15.2%
負債	4,360	5,319	+ 22.0%
（前受金）	1,952	1,475	△24.5%
（借入＋リース債務）	693	676	△2.5%
純資産	7,152	7,945	+11.1%
（株主資本）	6,621	6,899	+4.2%
（その他包括利益累計）	511	1,018	+ 99.0%
（非支配株主持分）	19	27	+44.8%
負債・純資産合計	11,512	13,265	+15.2%

2022年2Q セグメント別四半期比較

売上高

百万円

セグメント	2021年 2Q	2022年 2Q	前年 同期比
電子認証・ 印鑑	1,858	2,349	+ 26.4%
クラウド インフラ	1,472	1,505	+ 2.3%
D X	246	263	+ 7.1%
消去又は 全社	△122	△142	-
連結計	3,455	3,977	+ 15.1%

営業利益

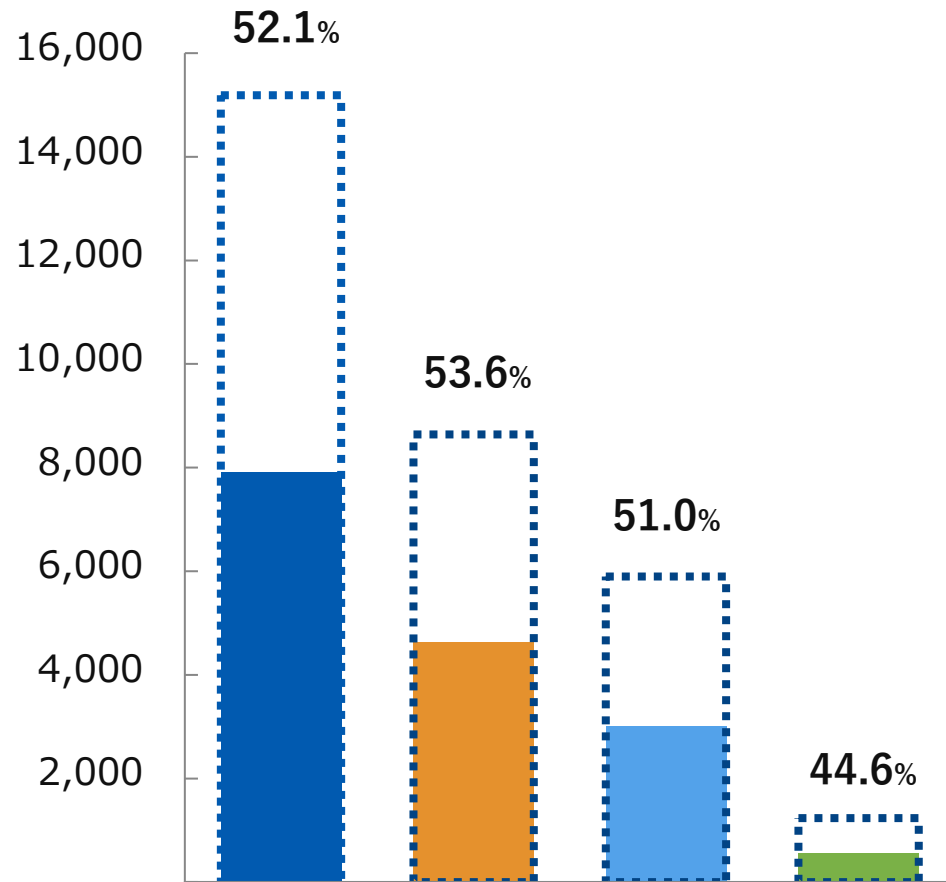
百万円

セグメント	2021年 2Q	2022年 2Q	前年 同期比
電子認証・ 印鑑	172	402	+ 133.1%
クラウド インフラ	106	72	△ 31.8%
D X	△81	△87	-
消去又は 全社	△2	△6	-
連結計	195	381	+ 95.1%

2022年2Q セグメント別予想対比

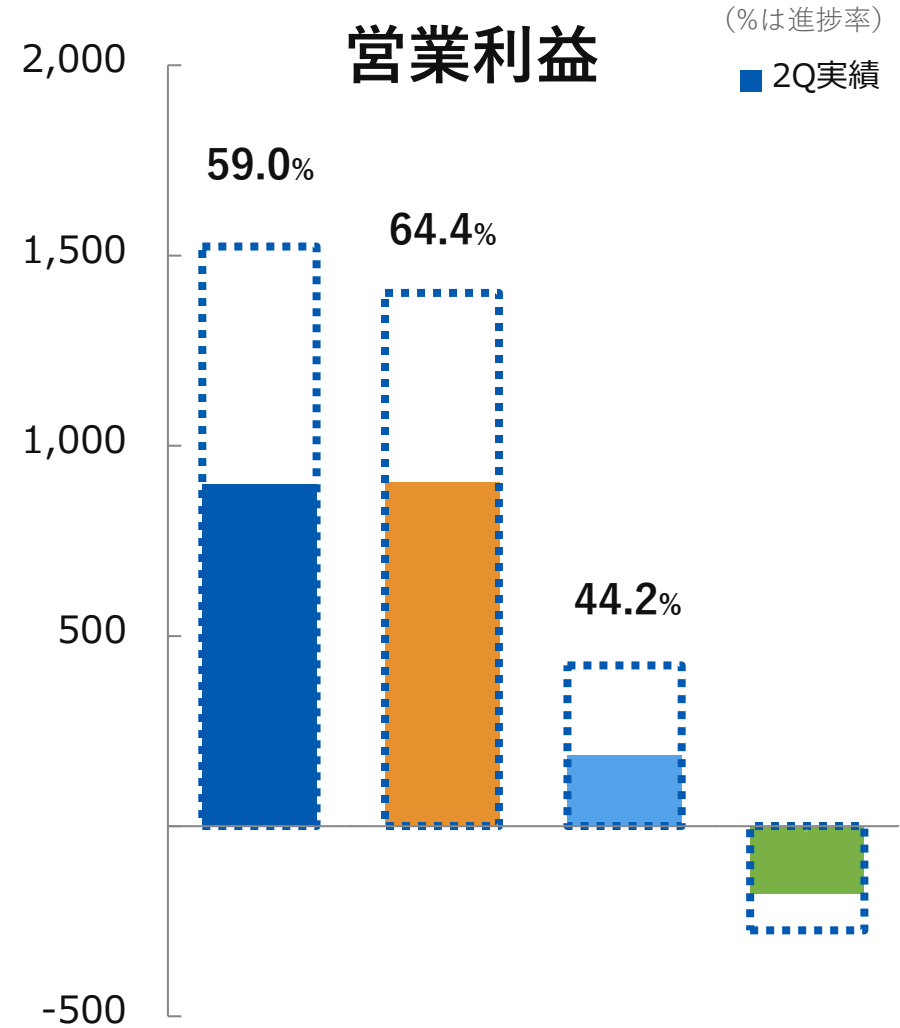
単位：百万円

売上高



■ 連結 ■ 電子認証・印鑑事業 ■ クラウドインフラ事業 ■ DX事業

営業利益



■ 2Q実績

2022年 通期業績予想

- 電子印鑑なら **GMOサイン** への戦略的投資を継続し契約送信数でもNO.1を目指す
- SSL有効期限短縮の影響が解消し、増収増益を計画

単位:百万円	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (予想)	2021年比
売上高	14,046	15,187	+ 8.1%
営業利益	1,171	1,524	+ 30.1%
経常利益	1,199	1,521	+ 26.8%
親会社帰属利益	483	900	+ 86.1%
1株当たり 純利益(円)	41.98	78.13	-

2022年 通期業績予想〔セグメント別〕

売上高

単位： 百万円	2021年 12月期 (実績)	2022年 12月期 (予想)	2021年比
電子認証・ 印鑑	7,721	8,638	+11.9%
クラウド インフラ	5,875	5,901	+0.4%
DX	966	1,232	+27.5%
消去又は 全社	△517	△ 584	—
連結計	14,046	15,187	+8.1%

営業利益

単位： 百万円	2021年 12月期 (実績)	2022年 12月期 (予想)	2021年比
電子認証・ 印鑑	1,054	1,402	+32.9%
クラウド インフラ	422	423	+0.2%
DX	△284	△ 274	—
調整	△20	△ 27	—
連結計	1,171	1,524	+30.3%

成長戦略

取り巻く環境

これから未来に起こりうる社会と生活環境の変化

デジタルIDの浸透
マイナンバー

コロナ禍による
働き方の変化

通信環境の進化
5G

巨大
プラットフォームの
台頭

DX化の推進

社会技術の変化

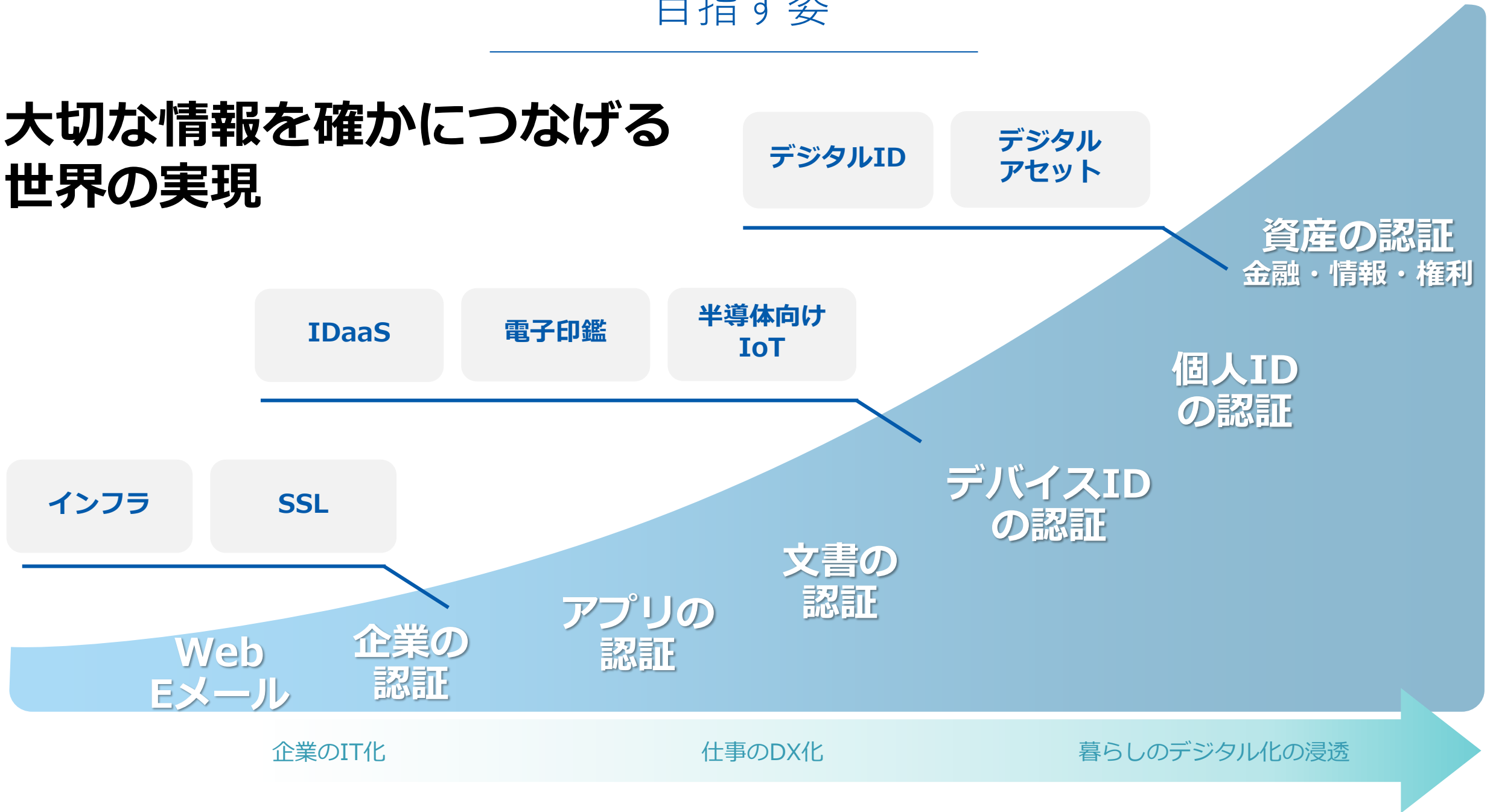
法規制の
デジタル化

デジタル
アセットの本格化

未来の変化に対応できるサービスの提供・体制基盤

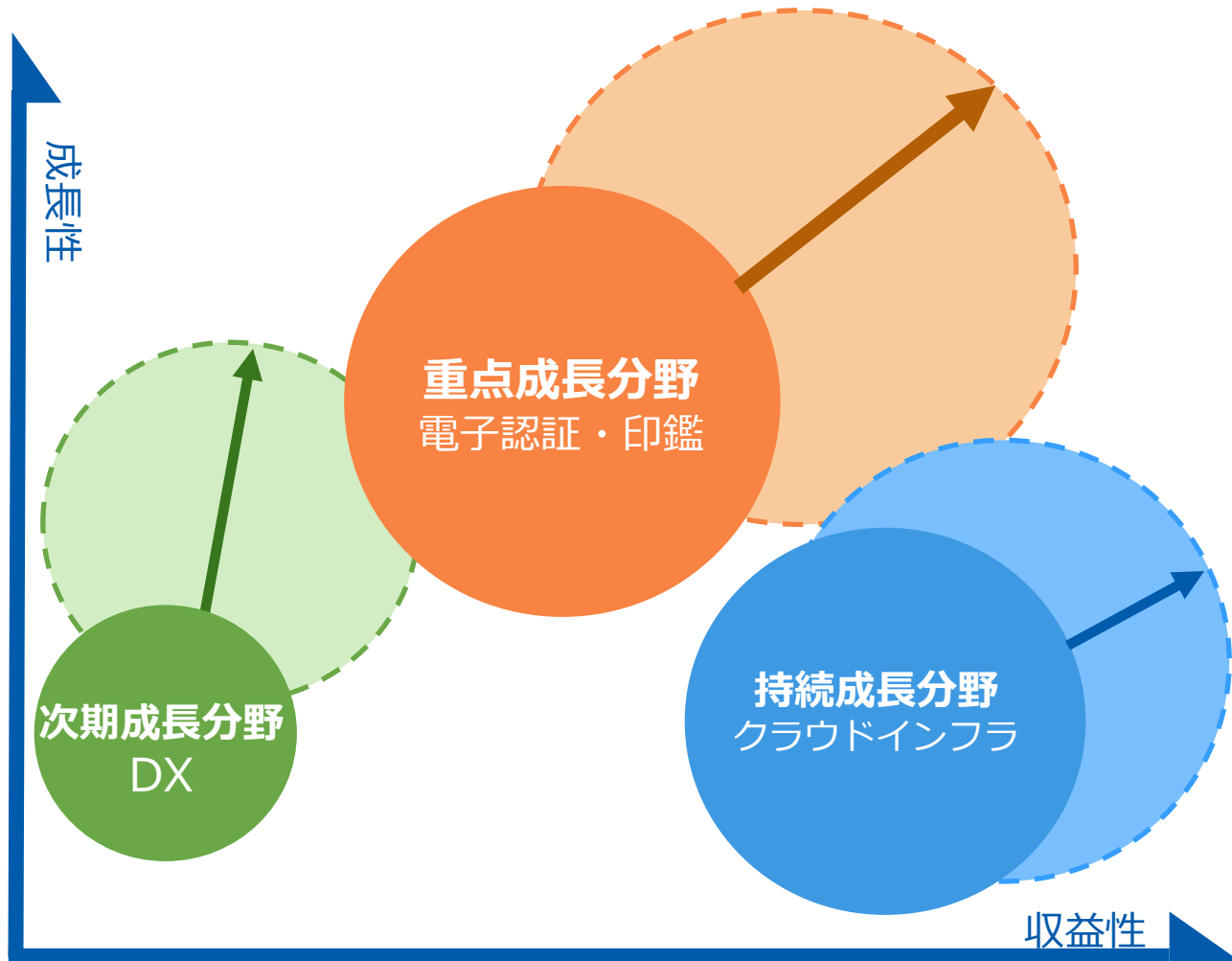
目指す姿

大切な情報をお互に確かにつなげる 世界の実現



企業価値向上のための事業ポートフォリオ

継続的な成長実現のためのヒト・モノへの重点投資



重点成長分野（電子認証・印鑑事業）

GMOサイン、グローバルサイン
積極的売上拡大と収益性改善

持続成長分野（クラウドインフラ事業）

マネージド、インフラ
重要な安定収益源として売上拡大と
収益性改善

次期成長分野（DX事業）

O2O、IoT、MaaS
将来の成長事業として基盤構築を進める

6つの重点戦略

経済的価値

戦略1
**経営資源の
重点配分**

GMOサイン／グローバル成長

戦略2
**持続成長分野の
更なる成長**

クラウドクルー／既存商材見直し

戦略3
新たな事業領域開発

おみせアプリ／新規事業開発

戦略4
**収益構造の変革に
よる体制基盤強化**

業務改善

社会的価値

戦略5 **企業風土の強化**

戦略6 **社会環境への取組み**

**コトをITで
変えていく**

なくてはならない
企業へ

会社概要

会社概要

会社名	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年 5月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	電子認証・印鑑事業（電子認証、電子契約、企業向けID・パスワード管理サービス） クラウドインフラ事業（クラウド、ホスティングサービス） DX事業（IoT関連、O2Oアプリ、ネットワークエンジン、車両遠隔診断）
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.8%※ *2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	16社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結3社（2022年6月末現在）
従業員数	連結 965名（2022年6月末現在）

GMOグローバルサイン・HDの事業領域

インターネットの安全を支える

電子認証・印鑑事業

電子認証により、
通信・取引を守る

ID管理により、利用者
の入り口を守る

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤
の提供

企業のクラウド利用を
支える・便利にする

DX事業

- IoT関連
- O2Oアプリ
- ネットワークエンジン
- 車両遠隔診断

「紙+押印」による従来の契約締結に代わり 「電子文書+電子署名」で締結するクラウド型契約サービス

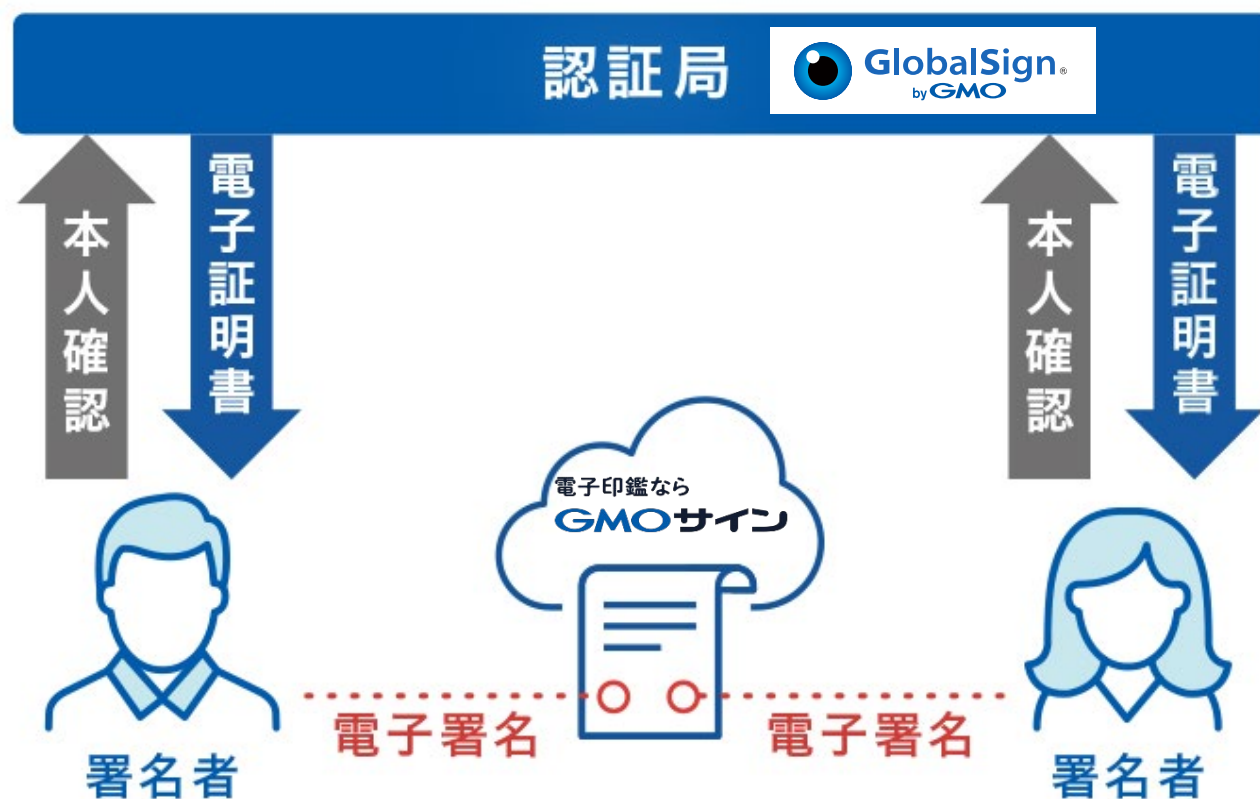
GMOサインの大きなメリット

早い	契約業務の効率化
コスト削減	郵送・保管費用カット & 印紙税も不要
安心	実印相当の法的証拠力 コンプライアンス強化

紙とGMOサインの比較

	紙の契約	GMOサイン
形式	紙の書面	電子データ (PDF)
押印	印鑑 or サイン	電子署名
送付	送付・持参	インターネット
保管	書棚	サーバー
印紙	必要	不要
証拠力	あり	あり

メール認証による「事業者署名型」に加え
認証局による実印相当の署名ができる「当事者署名型」を標準提供



※電子証明書は年間1枚無償提供

世界展開する唯一の国産認証局を運営し あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供

運用実績

24年

長年にわたる運用実績

世界で

5社

グローバルで
シェアを持つ認証局

PCブラウザ
搭載率

99.8%



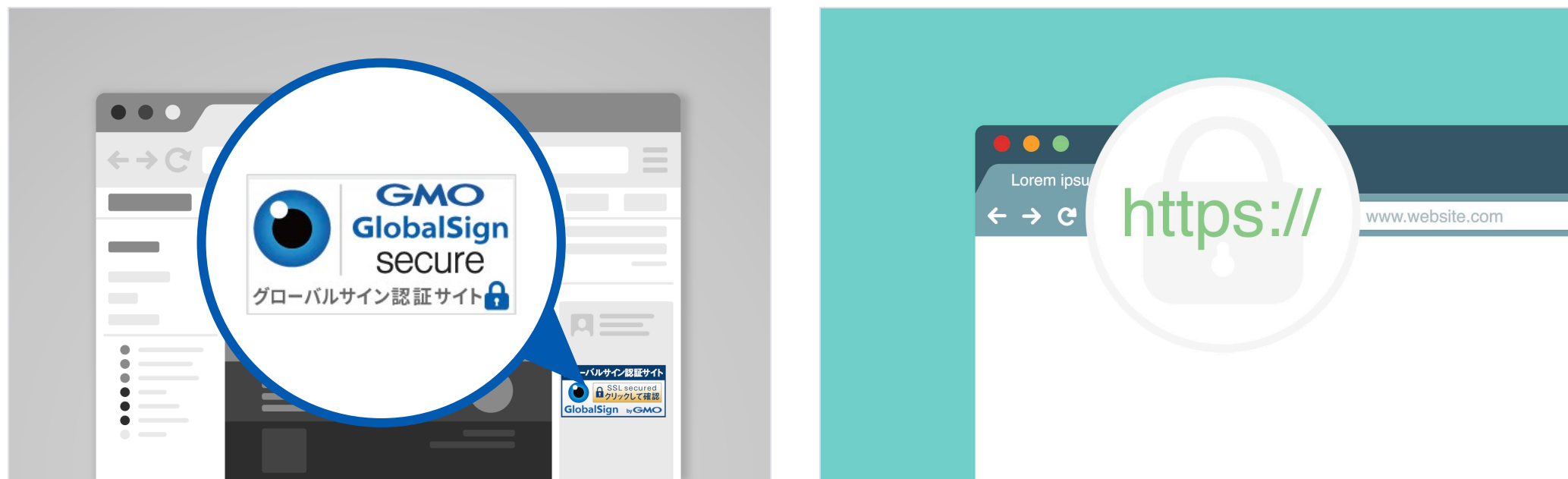
月間
電子署名数

300万

DocuSign社(米国)
にも採用



認証局とは、インターネット上における身元証明機関です

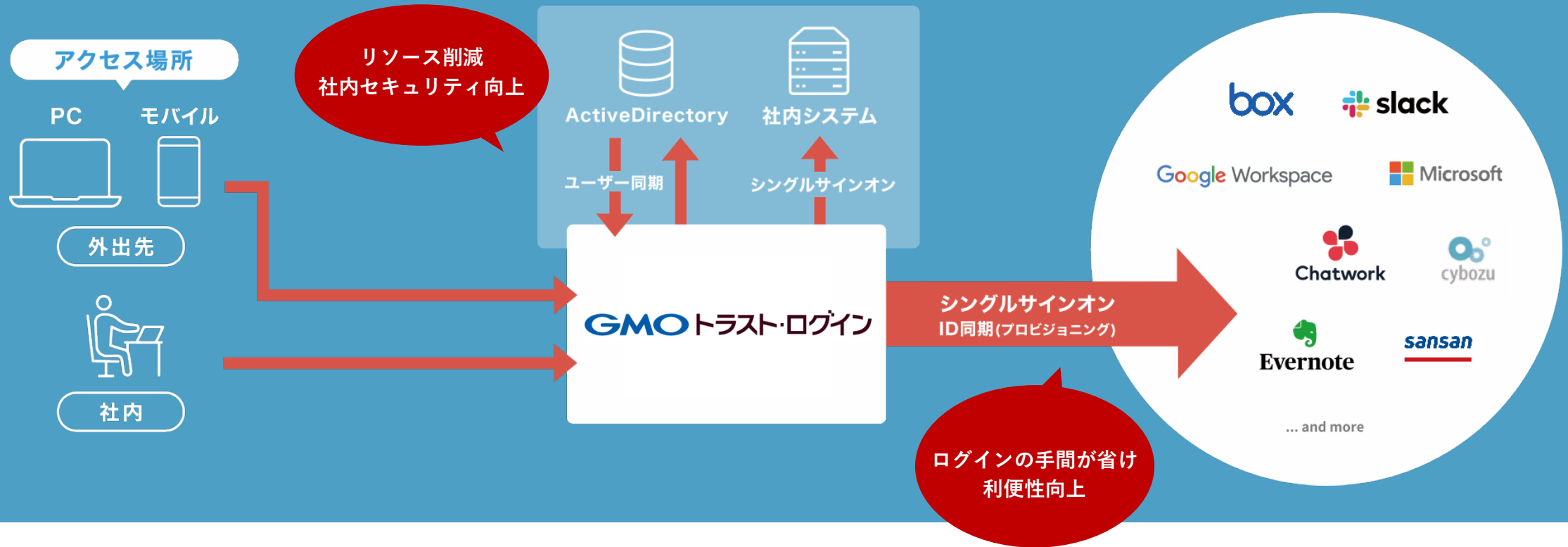


政府関連機関・大手企業をはじめ世界各国の企業・団体に導入

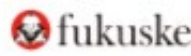
GMO トラスト・ログイン

複数のクラウド型サービスのID/パスワードを一元管理
更にアクセス制限などの情報漏えい対策機能を一括提供

会社概要・主要サービス概要



導入企業 (抜粋)



クラウドシステム構築支援と運用サポートを提供

AWS総合支援

- AWS請求代行
- 設計・構築代行
- 移行・導入支援
- アセスメント支援



- 3つの強み -

1. 自社運営の**カスタマーサポート**

2. 自社サービスの**顧客基盤**

3. 24年の実績に基づく**運用ノウハウ**

Google Cloud 総合支援

- Google Cloud請求代行
- データウェアハウス構築
- コスト最適化支援
- 監視・運用サービス



- 充実のサービス -



クラウド設計・構築



事前検証 (PoC) 支援



クラウド移行・導入支援



クラウドセキュリティ導入支援



クラウドアセスメントコンサルティング



脆弱性診断

様々な企業・ブランドへ自社アプリを提供

販促手段を「電子化」させ、マーケティングコストの削減と
パーソナライズされた顧客コミュニケーションを実現



効率的に
再来店を促進したい



閑散期の集客を
なんとかしたい



販促手段を
電子化したい



WEBサイトやSNSなど
様々な情報が点在している



EC・テイクアウトなど
非接触型のコミュニケーション実現



顧客データを販促に
有効活用できていない



自社のアプリ化で
店舗のDXを促進



顧客とのつながりを
維持・強化したい



マルチプレイを簡単に実装できるネットワークエンジン



オンラインゲームやオンラインイベントを簡単、低コストで制作するためのシステム環境を提供





クルマのさまざまな情報をクラウド上に蓄積
自動解析し「データ活用」事業をアシスト

クルマの状態を見える化
安心・便利なカーライフを

スマホアプリで撮影するだけ AIでメーター点検業務を効率化



スマートフォンアプリで、
メーターを撮影するだけで
点検が完了。



画像をAIで解析して、
数値データをWeb台帳に
自動で記入。



異常値を検出したら
管理者や担当者に
アラートを通知。



メーター画像やCSVデータの
ダウンロードも可能。点検エ
ビデンスにも活用できる。

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問合せ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室 IR担当 中

E-mail : [ir @gmogshd.com](mailto:ir@gmogshd.com) または <https://www.gmogshd.com/contact/ir/> よりお問い合わせください。